

修士課程推薦入学試験に関するQ&A

Q： 修士課程の3つの推薦入試の違いがよくわかりません。

A： 3つの推薦入試の違いを端的に説明すれば、次のとおりになります。

【修士課程学内推薦入試】

早稲田大学全学部の正規学生に対して開かれた推薦入試制度です。ひとつの研究指導につき受入は1名のみ
に制限されます。出願には、社会科学部の専任教員、兼任教員、あるいは非常勤講師の先生からの推薦書
が必要です。

【学部修士5年一貫推薦入試】

社会科学部で3年卒業の適用判定を得た方のみ出願資格があります。出願には、所定の出願資格を満たした
後、「社会科学部長による推薦書」の取得が必要になります。

【社会科学部長推薦入試】

社会科学部正規学生のみを対象とします。出願には、所定の出願資格を満たした後、「社会科学部長によ
る推薦書」の取得が必要になります。

※長谷川茂奨学金は、社会科学部生を対象とした社会科学研究科への進学奨学金で、上記3つの推薦入試
すべてが対象になります。入学前に年額50万円の給付が内定し、2年間継続されます（継続判定あり）。

Q： 推薦入試は、出願資格に成績の要件がありますか？

A： 学部修士5年一貫推薦入試と社会科学部長推薦入試は、最終学期までの通算のGPAが3.2以上であることが
成績の要件となっています。修士課程学内推薦入試では、2028年4月入学から出願資格に成績要件が加わ
り、最終学期までの通算のGPAが2.5以上であることが必要となります。

Q： 修士課程学内推薦入試の推薦書はどのように取得したらいいですか？

A： 入試要項に記載された推薦書作成依頼期間内に社会科学部の専任教員、兼任教員、あるいは非常勤講師の先
生とよく相談し、推薦書の作成を依頼してください。推薦書を書いてもらうにあたっては、通常は、授業等
で指導を受けており、先生が志願者のことをよく知っていることが前提になります。

Q： 学部修士5年一貫推薦入試や社会科学部長推薦入試で求められる「社会科学部長による推薦書」はどのよう
に取得したらいいですか？

A： 入試要項に記載された推薦書作成依頼期間内に、次の宛先へメールを送り、社会科学部教務主任の先生と面
談の約束を取ってください。面談の際には、入試要項に記載された必要書類を持参してください。なお、こ
の場合でも、教務主任の先生に面談を申し込む前に、現在のゼミ担当の先生や進学希望先の研究指導担当の
先生とも大学院進学についてよく相談をし、内諾を得ておくことをお勧めします。教務主任の先生との面談
の結果、推薦可能と判断された場合、「社会科学部長による推薦書」の下欄に教務主任の先生が承認印を捺
印します。その後、この教務主任の承認印が捺印された「社会科学部長による推薦書」を、出願前に社会科
学総合学術院事務所入試係まで持参して社会科学部長による承認印を得てください。なお、教務主任との面
談によって、必ず推薦を得られるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

「社会科学部長による推薦書」作成依頼用メールアドレス gsss-suisen@list.waseda.jp

Q： 「修士課程学内推薦入試」以外の推薦入試では、ひとつの研究指導につき受入は1名に限られますか？

A： いいえ、「学部修士5年一貫推薦入試」と「社会科学部長推薦入試」では、ひとつの研究指導あたりの受入
数の制限はありません。

以 上